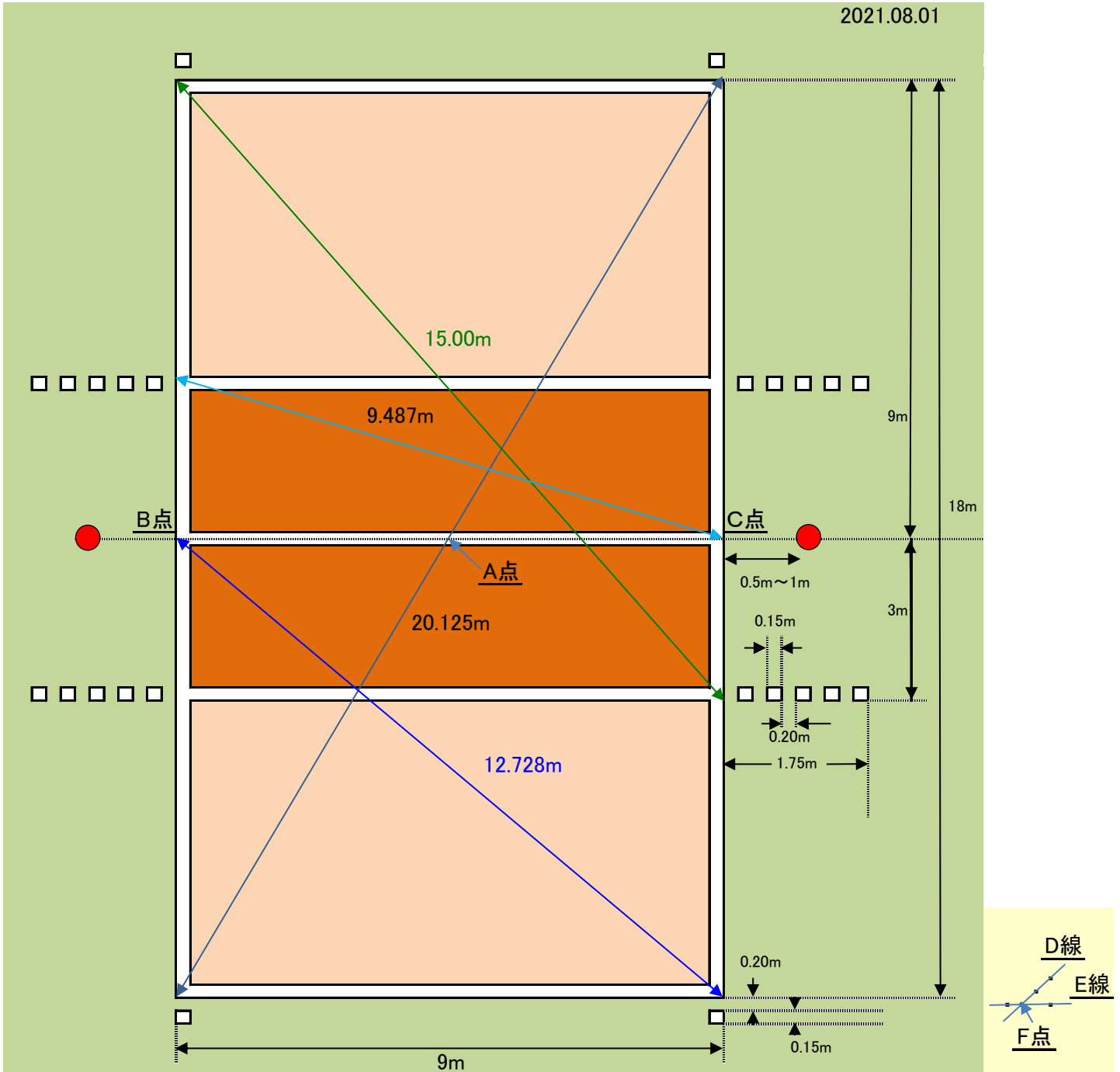


コート設営基準・手順

兵庫県クラブバレーボール連盟

2021.08.01



- ① ポール穴間の距離を測り半分の地点をコートの中点とする。(A点)
- ② A点から4.5mを両側(サイドライン側)に測りB点・C点とする。(基準点となる)(ライン幅5cmの半分2.5cmのポイントも付ける)
- ③ B点(C点)を起点に対角線上に12.728mの点を3か所ほど測り点と点を直線で結ぶ(D線)
- ④ B点(C点)を起点にエンドライン側に9.00mの点を3か所ほど測り点と点を直線で結ぶ(E線)
先ほどのD線とE線が交わる点(F点)がコーナーとなる。(四隅の内の一つのコーナー)
- ⑤ 同じことを繰り返し四隅のコーナーを決めていく。
- ⑥ 四隅のコーナーから長辺の18mを確認し、センターラインの9mが最初のB点・C点と一致しているかを確認する。
アタックラインの3mのポイントを決める。
- ⑦ エンドライン(アタックライン)の幅9mを確認する。各ポイントの距離を確認する。
- ⑧ ラインテープは伸ばした状態で、手指等で静電気を取っておかないと安定しないので注意！
(静電気を取った手は、床に触れて放電する)
- ⑨ ラインテープを張る時は、ヒモをしっかり引っ張りヒモに沿ってテープを貼っていく。(足の甲にヒモを巻き付けて引っ張る)
- ⑩ アタックラインの外側戦は、できるだけ破線テープを使用する。
- ⑪ サービスゾーンの破線は、長辺を貼る時に長めに貼り後でカットする。

※ スケールは金属製のものを使用すること